

■建築文化週間 2008 「歴史文化を活かしたまちづくり」

中国地方のまちづくりを考える上で、歴史文化は大きな地域資源であると考えられます。全国的にみても、長い歴史と各地域の個性を蓄積してきた、中国地方のまちづくりのあり方を総括しつつ、今後の可能性について、さまざまな視点で考えてみたいと考えます。

主 催：日本建築学会中国支部

後 援：広島県 広島市 NHK 広島放送局 中国放送 中国新聞
(社) 都市計画学会中国四国支部 (社) 土木学会中国支部 (社) 広島県建築士会

日 時：10月26日(日) 13:00～17:00

会 場：広島国際大学広島キャンパス国際教育センター(広島市中区鞆町1-5 TEL082-211-5101)

定 員：150人(当日先着順)

参加費：無料

プログラム(予定)

第1部 基調講演

講演1 「地域個性や観光資源、生活環境としての歴史的町並みの可能性(仮)」
松場登美氏(観光カリスマ、(株)石見銀山生活文化研究所取締役所長)

講演2 「地域連携の視点からみた歴史文化を活かしたまちづくり」
佐々木卓也氏(ひろしま歴史街道トリップ実行委員会・座長)

第2部 事例報告

報告1 「歴史文化を活かしたまちづくりへの支援とこれまでの取り組み事例(仮)」
藤岡圭太郎氏(国土交通省中国地方整備局県西部利長聖)

報告2 山口県萩市の事例「観光と生活との調和を目指したまちづくり(仮)」
大槻洋二氏(萩市歴史まちづくり部まちなみ対策課 主任専門職)

報告3 広島県宮島の事例「観光と生活の調和を目指したまちづくり(仮)」
福島俊を氏(古民家再生研究所主宰)

意見交換・全体総括

申込方法：FAXまたはe-mailで、氏名・所属・住所・電話番号を明記のうえ、
10月19日(日)までに下記あてにお申込ください(様式自由)。

申込先 〒730-0041 広島市中区小町4-33 中国電力3号館5階
(社)中国地方総合研究センター 宮本 茂

FAX：082-245-7629 TEL：082-245-7900(代表) e-mail：miyamoto@crrc.or.jp